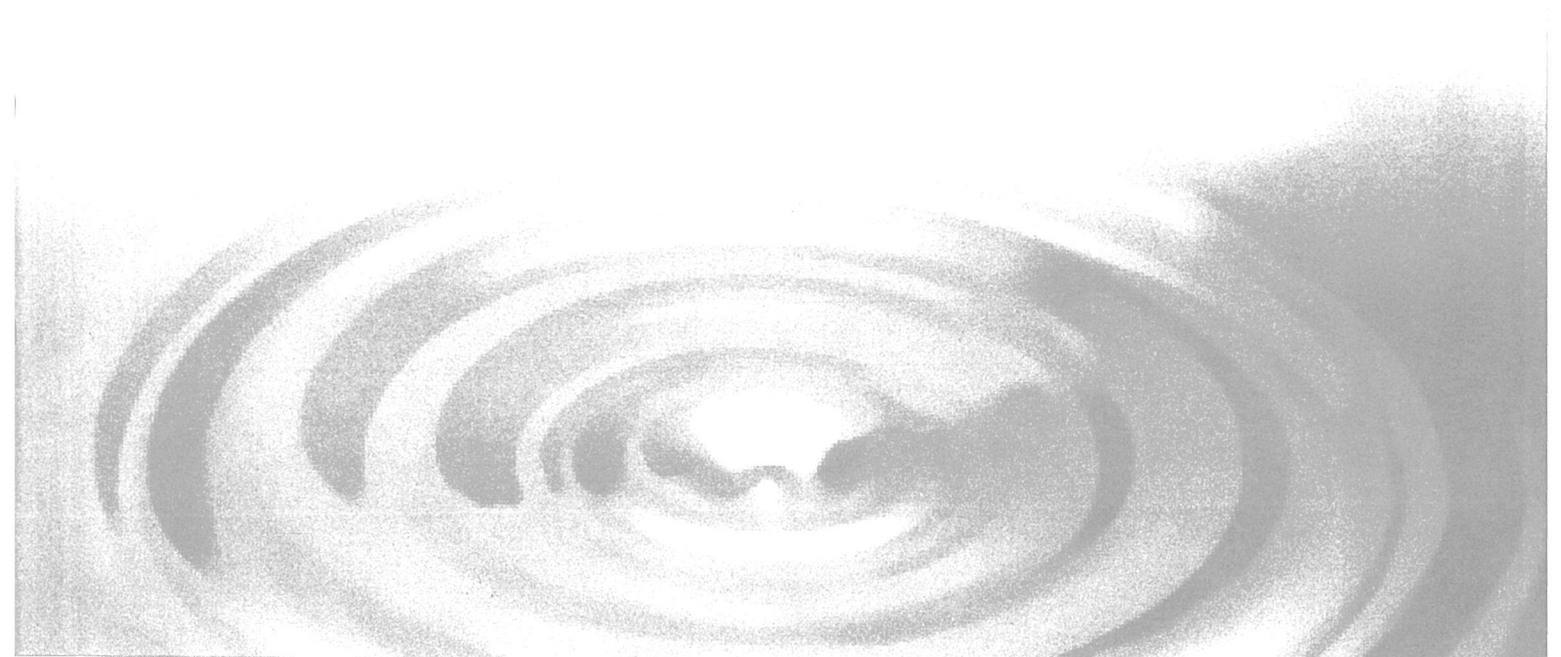


I 事業報告



生涯教育推進センター事業報告

1 平成25年度 生涯教育推進センター事業報告

生涯教育推進センター事業報告

生涯教育推進センターは、生涯学習の推進を図ることを目的として、平成25年度に設立された。本センターは、生涯学習の推進を図ることを目的として、平成25年度に設立された。本センターは、生涯学習の推進を図ることを目的として、平成25年度に設立された。

本センターは、生涯学習の推進を図ることを目的として、平成25年度に設立された。本センターは、生涯学習の推進を図ることを目的として、平成25年度に設立された。本センターは、生涯学習の推進を図ることを目的として、平成25年度に設立された。

本センターは、生涯学習の推進を図ることを目的として、平成25年度に設立された。本センターは、生涯学習の推進を図ることを目的として、平成25年度に設立された。本センターは、生涯学習の推進を図ることを目的として、平成25年度に設立された。

本センターは、生涯学習の推進を図ることを目的として、平成25年度に設立された。本センターは、生涯学習の推進を図ることを目的として、平成25年度に設立された。本センターは、生涯学習の推進を図ることを目的として、平成25年度に設立された。

平成25年度 生涯教育推進センター運営方針

(1) 大学開放の推進とセンターの機能を充実

高等教育機関としての大学開放の在り方について調査研究を進め、センターの機能の充実を図る。また、大学と地域との在り方について、学内外の関係者から意見や希望を聴取し、生涯学習の専門機関としてのセンター運営を展開する。

(2) 地域社会への学習機会提供

地域生涯学習の推進に係わる関係機関との連携を強め、大学の教育機能を十分に生かした事業を提供し、地域全体の学習機会の充実に貢献する。

(3) 地域の教育行政への支援

県・市町村と連携し、社会教育・生涯学習指導者の養成と研修を行うとともに、その方法、内容などについて研究・協議を重ね、研修の体系化を図る。

(4) 生涯学習に関わる基礎研究

県・市町村と協議しながら、生涯学習の推進のための学習環境整備に係わる基礎的調査研究を継続的に実施する。

(5) 生涯学習情報の提供

生涯学習に関わる情報や資料を整理し、学習活動や調査研究に役立つよう情報提供を行う。

生涯教育推進センター事業概要

本センターの運営方針に基づき、次のような事業を行う。

(1) 全学的な協力体制のもとに大学公開講座を運営するとともに、本センターは全学・学部横断的な公開講座の提供、調査研究対象となる講座、新規開発的な講座、試行的な講座、県・市町村などの関係機関との連携講座、大学間連携講座、社会教育指導者養成講座、委託事業などを実施する。

(2) 県・市町村、及び関係機関等の社会教育関係職員の研修を支援する。

※県、市町村と協議を進め、研修成果の評価を含め、研修の体系化を図る。

(3) 県・市町村、及び関係機関等と連携し、地域の生涯学習を総合的に推進するため、地域生涯学習システムの研究、及び生涯学習推進の基礎的資料となる地域の実態調査や住民の学習意識に関する調査研究などを積極的に行う。

※行政機関が実施する調査等に協力するとともに、独自の調査も検討する。

(4) 生涯学習、大学開放等に関する国内外の資料、情報を収集し、提供する。

(5) 生涯学習支援活動データベースの充実を図るため、教員の登録を推進する。

(6) 大学公開講座の開設において、全学的な調整機能をセンターが果たすとともに、センターの機能を生かして公開講座の企画・運営などのノウハウを学内へ情報提供を行い、大学公開講座の内容の充実および質的な向上を図る。また、公開講座・公開授業の拡大を通して、地域社会への教育サービスの充実を図る。

(7) その他、年間を通して、特に緊急を有する事柄で、センター長が認めたもの。

事業の運営細目

- (1) 本センター講座の開設は、原則4月から2月までの期間に実施するようとする。
講座は、原則として1講座、複数回以上開講し、1回1～3時間とする。
- (2) 講座の内容は、現代的課題や地域課題、社会のニーズ、及び大学としての役割も考慮しながら本センターで検討する。
- (3) 連携事業及び調査研究事業などは、関係機関との協議を通して内容の充実を図る。
- (4) 県・市町村、関係機関等からの生涯学習の推進に関する相談・協力依頼等については、年間を通じて可能な限り、積極的に受け入れるものとする
- (5) 学内外の関係者を交えた意見交換の場を設置し、大学の生涯教育推進センターとしての在り方について意見を聴取し、センターの事業に反映する。

平成25年度 生涯教育推進センターの事業運営

1. センターが運営する公開講座・公開授業の実施状況と結果

(1) 公開講座の実施結果

平成25年1月、6月に全学の教職員を対象に公開講座・公開授業開講の募集を行い、申請された公開講座46講座、公開授業98講座をセンターで取りまとめて公開した。

全体として、144講座に1,308人の市民が大学にて学習活動を行った。(表1参照)

また、広報は、ポスター・案内小冊子(県内各市町村教委、教育機関・施設等に送付、小冊子は前年度受講者、希望者中心に個人配布)、募集チラシ(7万部×前期、後期)を作成し、本県東部、鳥取県西部(米子市・境港市)中心に新聞折込をした。

表1 島根大学公開講座実施結果(大学法人化 平成16年度～)

年度	公開授業		公開講座						大学公開講座全体	
	年間合計		有料講座		無料講座		合計		総合計	
	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	総受講者数
16	23	71	12	231	12	565	24	796	47	867
17	24	86	18	355	6	50	24	405	48	491
18	83	208	21	366	11	91	32	457	115	665
19	99	213	16	234	15	261	31	495	130	708
20	103	197	17	319	11	297	28	616	131	813
21	95	209	19	348	18	526	37	874	132	1,083
22	102	261	19	422	23	1,048	42	1,470	144	1,731
23	100	239	24	423	19	599	43	1,022	143	1,261
24	91	241	21	355	19	816	40	1,171	131	1,412
25	98	241	21	336	25	731	46	1,067	144	1,308
累計	818	1,966	188	3,389	159	4,981	347	8,370	1,165	10,336

(2) 公開講座の年間テーマ

島根大学公開講座への全学的な取組みを明確にするため、年度ごとにテーマを定め、学部横断的、学際的な公開講座を別途募集してきた。平成25年度は、「環境」を年間テーマに全学募集を行った結果、5講座（食環境、健康、生活環境、自然環境等）を該当テーマとして実施した。

(3) 地域社会の学習機関・組織との連携

本学公開講座の一部を「まつえ市民大学」「出雲市生涯学習講座」に連携講座として提供し、双方で市民の学習ニーズに応えるよう学習機会の拡充に努めている。

25年度は、有料・無料の46の公開講座の内、「まつえ市民大学」に13講座、「出雲市生涯学習講座」に3講座の計16講座を連携講座として提供した。

2. センターが主催する学習講座の実施状況と結果

(1) 学習機会提供事業（※センターの地域貢献、生涯学習事業として位置づけ）

- 1) 公開講座：「人形浄瑠璃文楽の世界を知る」（公開講座：無料）
：「インターネットサービスの発達と教育環境・生活環境への影響」（無料）

- 2) 自然体験講座：
 - ・親子を対象にした海の体験活動で、7組家族ら16名の参加があった。
 - （参考：活動の様子は体験学習指導教材として映像化）

<http://marine-fieldwork.com/>

- 3) 資格取得支援講座（公開講座：有料）
 - ・「コンピュータサービス技能評価試験2級（表計算）」資格取得支援講座
 - ・「国家資格『ITパスポート』試験」資格取得支援講座

- 4) 資格取得講座
 - ・「デジタルアーカイブ・クリエイター資格認定講習会」
（岐阜女子大学、常磐大学と島根大学の共同開催）

3. センターが主催する地域の社会教育指導者養成事業の実施状況と結果

(1) 社会教育指導者養成事業

- 1) 社会教育基礎講座Ⅰ（概論・各論） ※ 3.0h × 5回、11月～1月末
- 2) 社会教育基礎講座（著作権） ※ 3.0h × 1回、1月末
- 3) 社会教育基礎講座（特講） ※ 「地域づくり」に関する特別講座、1.5h × 8回

4. 生涯学習活動を支援する情報提供

- (1) 本学「公開講座」等の情報提供は、ポスター、講座案内冊子、広報チラシ等の紙媒体と、本センターHPで学習講座の最新情報及び受講手続きに関する情報等も提供。
- (2) 「島根大学教員の生涯学習支援活動のデータベース」は、大学HPの島根大学教員情報検索システムと連結しており、学外からの講師の検索に利用されている。

5. 地方教育行政等への人的支援、及び教育コンサルティング事業（センター教員1名分）

- (1) 教育行政等に係わる委員会委員としての活動
 - ・ 県・市町村の13の委員会にて、委員としての活動 合計 延べ 40回
- (2) 学会・公的団体・民間教育関係団体等の委員会委員としての活動
 - ・ 9の委員会・協議会に所属、合計 19回活動

- (3) 生涯学習の推進等に係る相談（※本センターに来訪、電話相談など）
- ・生涯学習推進に関して 8回（24年度 27回）
 - ・指導者養成研修に関して 19回（24年度 38回）
 - ・生涯学習講座に関して 12回（24年度 19回）
 - ・本学教員の講師紹介に関して 4回（24年度 10回）
 - ・その他 3回
- 合計 延べ 46回

- (4) 学外における生涯学習講座の指導
- ・県、市町村主催の講座指導 5件（24年度 37回）
- 合計 5件

6. 調査研究

- (1) 「島根大学公開講座受講生の学習行動・学習意識調査」（経年調査）
- ・この調査は、公開講座のあり方の検証データとして活用する。
 - 24年度は、前期・後期の受講者 717人対象 463人回答
 - 25年度は、前期・後期の受講者 720人対象 469人回答
- (2) 「大学公開講座等の大学の教育サービスと市町村の社会教育事業との連携に関する調査」
- ・本学公開講座に対する県内市町村の要望等を調査し、今後の遠隔地市町村での講座開催の参考とする。24年12月、19市町村教育委員会と出雲市、大田市、雲南市、安来市の各市の首長部局の旧公民館施設所管課に調査票を送付。18教育委員会、1首長部局所管課より回答があり、24年、25年度にわたって調査分析を行った。
- ※(1)(2)の調査結果は、本センター年報10号の掲載

7. その他

- (1) 刊行事業
- 1) 本センター「年報」は、教育実践活動と教育研究等を併せた報告書となっている。24年度「年報」では、事業報告、及び教育研究として、24年度募集の研究論文1本、センター調査研究、研究ノート2本を掲載し、25年12月に「生涯学習教育研究センター年報」（10号）として刊行した。
- (2) 広報活動
- 1) 公開講座はもとより、大学全体、各学部、各センター等で実施される講演会や各種事業など、本センターに開催の情報が集約されたものについては、大型ポスター、冊子、チラシ等に掲載し、社会教育施設、学校、受講者OBなどに配布するとともに、広報チラシの新聞折込を通して広く県民に周知している。
- 具体的には、25年3月、9月に、ポスター、冊子配布に加え、24年度公開講座の募集チラシを作成し、関係機関等に配布するとともに、県東部地域に前期7.5万部、後期7万部新聞折り込みを実施した。
- 2) 1)以外の講座広報では、講座ごとに、学校、公民館等に広報チラシを配布するとともに、松江市の市報、公民館報に掲載を依頼し幅広い広報を展開した。
- (3) センターICT演習室の管理・運営
- 20年度に従来のマルチメディア演習室をICT学習用に改修し、21年度より学生の情報教育、公開講座、指導者養成講座等学内外のIT教育事業の利用に供している。
- 25年度の利用状況は、一般、学生合わせて、79回、1,346名の利用があった。

2 平成25年度 生涯教育推進センター事業 実施内容結果

(1) 公開講座・公開授業実施結果

平成25年度（前期） 島根大学公開講座実施結果

No.	学部・センター名	講座責任者	講座名	有料 無料	講習料	募集 人数	申込 人数	受講 人数	対 象 者	時 期	回数	総時間
1	総合理工学研究科	葉文 昌	単結晶シリコン太陽電池の製作実習	有料	3,200	20	11	10	民間技術者・行政職員・教職員	4月20日(土) 9:00~18:00	1	8
2	教育学部	西村 覚	硬式テニス教室	有料	7,000	40	43	39	市民一般、 (初・中・上級者)	5月8日(水)~7月17日(水) 19:00~21:00	10	20
3	教育学部	西村 覚	こどもテニス教室1 A	有料	3,200	30	13	12	小学校低学年 初心者、初級者	5月11日(土)~7月13日(土) 9:15~10:15	8	8
4	教育学部	西村 覚	こどもテニス教室1 B	有料	4,600	30	15	13	小学校高学年 初心者、初級者	5月11日(土)~7月13日(土) 10:30~12:00	8	12
5	外国語教育センター	西脇 宏	金曜日のドイツ語	有料	4,000	20	21	21	市民一般	5月10(金)~7月13日(金) 18:00~19:00	8	8
6	生物資源科学部	石橋美保子	旬の果実でジャムづくり	有料	3,600	16	39	20	市民一般	5月24日(金)、8月2日(金)、11月8日(金) 13:30~16:30	3	9
7	生物資源科学部	土本浩之 門脇正行	やさしいサツマイモ栽培	有料	3,600	10	5	5	市民一般	6月14日(金)~11月15日(金) 13:30~15:00	6	9
8	生物資源科学部	土本浩之	季節の作物を収穫体験!	有料	2,400	15	28	20	市民一般	7月5日(金)~10月25日(金) 9:30~11:00	4	6
9	教育学部	境 英俊	泳げない子の水泳教室	有料	5,500	20	13	13	小学3~6年生	7月22日(月)~26日(金) 9:00~12:00	5	15
10	教育学部	境 英俊	少しだけ泳げる子の水泳教室	有料	5,500	20	23	21	小学3~6年生	7月22日(月)~26日(金) 9:00~12:00	5	15
11	生物資源科学部	喜多威知郎	使ってみよう! ワープロソフト・ワード	有料	3,200	25	13	10	市民一般	9月10日(火)~13日(金) 13:30~15:30	4	8
12	生物資源科学部	喜多威知郎	上級者へステップアップ! ワープロソフト・ワード	有料	3,200	25	16	16	市民一般	9月17日(火)~20日(金) 13:30~15:30	4	8
13	医学部	橋本道男	食環境と健康~脂質栄養と健康~ -食環境と健康- (雲南市会場)	無料	0	200	90	90	市民一般・行政職員・ 教職員	4月21日(日) 14:00~16:30	1	2.5
	医学部	橋本道男	食環境と健康~脂質栄養と健康~ -環境と長寿- (松江市会場)	無料	0	200	75	75	市民一般・行政職員・ 教職員	7月6日(土) 14:00~16:30	1	2.5
14	医学部	守田美和	誰でも参加できる糖尿病教室	無料	0	20	22	17	市民一般・行政職員・ 教職員	5月20日(月)、7月22日(月)、9月9日(月) 15:30~16:30	3	3
15	ミュージアム	会下和宏	山陰の古環境を探る	無料	0	60	65	50	市民一般・高校生	5月11日(土)~9月28日(土) 13:00~14:30	5	7.5
16	ミュージアム	会下和宏	第9回島根まるごとミュージアム体験ツアー	無料	0	40	54	35	市民一般・小・中学生 ・高校生	5月18日(土) 9:00~18:00	1	9
17	生物資源科学部	安田 登 門脇正行	サツマイモ・ダイコンを育てよう	無料	0	25	26	26	市民一般	5月31日(金)~11月22日(金) 10:00~12:00	6	12
18	生物資源科学部	磯上憲一 山岸主門	親子で「遊力」と「農力」を楽しく結ぶ	無料	0	20組 (40)	59	59	小学生とその家族	5月25日(土)、8月20日(火)、10月12日(土) 9:30~12:00	3	7.5

平成25年度（前期） 島根大学公開講座実施結果

No.	学部・センター名	講座責任者	講座名	有料 無料	講習料	募集 人数	申込 人数	受講 人数	対象者	時期	回数	総時間
19	生物資源科学部	安田 登 門脇正行	初めての蕎麦作り	無料	0	20	20	20	市民一般	8月23日(金)～12月13日(金) 10:00～12:00 最終回10:00～13:00	5	11
20	汽水域研究センター	倉田健悟	汽水域の調査を体験してみよう	無料	0	10	14	10	市民一般	6月1日(土)、8日(土)、15日(土) 9:00～12:00、13:00～16:00	6	18
21	医学部	佐野千晶	感染症と生活環境 ～感染症入門 身のまわりの感染症～	無料	0	40	26	19	市民一般・高校生	7月6日(土)、13日(土)、20日(土) 14:00～15:30	3	4.5
22	総合科学研究支援センター	松本健一	理科実験講座1 自然の中の放射線	無料	0	20	12	7	市民一般・小・中学生 生・高校生	7月23日(火) 14:00～16:30	1	2.5
23	総合科学研究支援センター	松本健一	理科実験講座2 台所は実験室	無料	0	20	19	13	市民一般・小・中学生 生・高校生	7月24日(水) 14:00～16:30	1	2.5
24	医学部	小林裕太	夏休み子供科学教室	無料	0	20	16	15	小・中学生	8月2日(金) 13:30～15:30	1	2
25	医学部	石橋浩晃	お口の探検ツアー	無料	0	8	8	8	小学4年生	8月7日(水) 13:00～16:00	1	3
26	医学部	竹下治男	臨床法医学者の立場から 「子ども虐待の発見と連携について」	無料	0	50	16	12	市民一般・行政職員・ 教職員	9月28日(土) 10:00～12:00	1	2
			合計			1044	762	656				

平成25年度（後期） 島根大学公開講座実施結果

No.	学部・センター名	講座責任者	講座名	有料 無料	講習料	募集 人数	申込 人数	受講 人数	対象者	時期	回数	総時間
1	教育学部	西村 覚	硬式テニス教室	有料	7,000	40	43	43	市民一般	9月25日(水)～12月11日(水) 19:00～21:00	10	20
2	教育学部	西村 覚	こども硬式テニス教室2A	有料	3,200	30	11	11	小学校低学年	10月19日(土)～12月7日(土) 9:15～10:15	8	8
3	教育学部	西村 覚	こども硬式テニス教室2B	有料	4,600	30	19	19	小学校高学年	10月12日(土)～11月30日(土) 10:30～12:00	8	12
4	生涯教育推進センター	仲野 寛	あなたのIT力を証明する国家資格『ITパスポート』試験支援講座	有料	9,000	20	12	11	市民一般 高校生・学生	10月22日(火)～平成26年2月18日(火) 18:30～20:30	15	30
5	生涯教育推進センター	仲野 寛	仕事で使える「エクセル」上級スキルマスター～コンピュータ・サービス技能評価試験2級の取得支援講座～	有料	9,000	20	8	8	市民一般 高校生・学生	10月24日(木)～平成26年2月13日(木) 18:30～20:30	15	30
6	教育学部	新井知生	版画講座 —ドライポイントプレートで凹凸版刷りを楽しもう—	有料	4,000	7	7	6	市民一般	10月24日(木)～11月21日(木) 10:00～12:00	5	10
7	外国語教育センター	西脇 宏	金曜日のドイツ語 Weiter gent's mit Deutsch!	有料	4,000	20	17	17	市民一般	11月1日(金)～12月20日(金) 18:00～19:00	8	8
8	生物資源科学部	井上威久雄 山岸主門	正月飾りを手作りしよう	有料	3,000	20	14	13	市民一般	12月10日(火)、11日(水)、13日(金) 13:30～16:00	3	7.5
9	生物資源科学部	喜多威知郎	始めてみよう！ 表計算ソフト・エクセル	有料	1,600	25	9	8	市民一般	2月27日(木)、28日(金) 13:30～15:30	2	4
10	病院医学教育センター	廣瀬昌博	日本の医療は安全か？	無料	0	20	14	11	市民一般	10月7日(月)、11月11日(月)、12月2日(月) 10:30～12:00	3	4.5
11	教育学部	福田景道	「国語」の世界の新展開	無料	0	30	21	18	市民一般	10月18日(金)～12月6日(金) 18:00～19:30	7	10.5
12	ミュージアム	会下和宏	考古学・歴史学からみた先史・古代の「出雲」	無料	0	60	50	50	市民一般・高校生	10月26日(土)～平成26年3月8日(土) 13:00～14:30	7	10.5
13	生涯教育推進センター	仲野 寛	インターネットサービスの発達と教育環境・生活環境への影響～利便性と危険性をはらんだICT社会～	無料	0	20	6	2	市民一般・高校生 行政職員・教職員	11月6日(水) 18:30～20:30	1	2
14	総合科学研究支援センター	広光一郎	総合科学研究支援センター公開講演会 「島根の科学 —おもしろい科学の話 8—」	無料	0	100	53	42	市民一般・小学生 中学生・高校生	11月9日(土)、11月30日(土) 14:00～15:30	2	3
15	生物資源科学部	山本達之	松江地域文化を語る 松江地域在住外国人と語る	無料	0	30	21	21	市民一般	11月23日(土)、11月30日(土) 13:00～15:00	2	4
16	教育学部	高須佳奈	キッズサイエンス スクール (午前コース)	無料	0	15	14	14	小学校2～4年生 その保護者	平成26年1月11日(土)、2月1日(土)、3月8日(土) 10:00～12:00	3	6
17	教育学部	高須佳奈	キッズサイエンス スクール (午後コース)	無料	0	15	8	8	小学校2～4年生 その保護者	平成26年1月11日(土)、2月1日(土)、3月8日(土) 14:00～16:00	3	6
18	生涯教育推進センター	仲野 寛	人形浄瑠璃文楽の世界を知る	無料	0	100	93	91	市民一般・小学生・中学生・ 高校生・本学学生	平成26年2月9日(日)、2月16日(日)、3月9日(日) 13:30～15:00	3	4.5
19	生物資源科学部	門脇正行 小林伸雄	島大のブランド農産品「出雲おろち大根」 「神在りの里」を味わう	無料	0	20	12	8	市民一般	2月25日(火) 18:30～20:30	1	2
20	医学部	石橋浩晃	さあ、島根から世界へ!!	無料	0	40	10	10	中学生、高校生	11月10日(日) 10:00～11:30	1	1.5
			合計			662	442	411				

平成25年度（前期） 島根大学公開授業実施結果

教養教育系科目（全学共通教育科目）

No.	科目名	レベル	曜日	時限	授業形態	募集人数	申込人数	受講人数	学部	職名	担当教員
1	東アジアのこぼと文学	A	月	1・2時限	講義	10	1	0	法文学部	教授	要木純一
2	情報化社会と経済	A	月	7・8時限	講義	5	2	1	法文学部	教授	野田哲夫
3	汽水域の科学	C	火	3・4時限	講義	10	3	3	汽水域研究センター	教授	國井秀伸他
4	細胞学	A	火	3・4時限	講義	5	2	1	生物資源科学部	准教授 助教	児玉有紀 秋廣高志
5	山陰の歴史～古代・中世	A	火	5・6時限	講義	10	7	6	法文学部	教授	大日方克己
6	心の世界	A	火	5・6時限	講義	10	9	6	法文学部	教授	石井 徹
7	フランスの社会と文化	A	火	7・8時限	講義	10	6	6	法文学部	准教授	安齋有紀
8	電気電子工学概論	A	火	9・10時限	講義	5	0	0	総合理工学研究科	教授	土屋敏章
9	古代出雲の考古学	A	水	3・4時限	講義	10	6	5	法文学部	准教授	岩本 崇
10	王朝の文学	A	水	3・4時限	講義	5	12	12	法文学部	講師	野本瑠美
11	心の形成	A	木	7・8時限	講義	10	8	7	法文学部	教授	村瀬俊樹
12	文化人類学入門	A	木	9・10時限	講義	10	2	2	法文学部	教授 准教授	出口 顕 福井栄二郎
13	環境の化学	A	金	1・2時限	講義	10	1	0	総合理工学研究科	教授	清家 泰
14	エレクトロニクスのはなし	A	金	1・2時限	講義	5	0	0	総合理工学研究科	教授	北原邦紀
15	ユーラシアの歴史と民族	A	金	1・2時限	講義	5	3	3	法文学部	准教授	丸橋充拓
16	基礎社会学Ⅰ	A	金	3・4時限	講義	5	0	0	法文学部	教授	吹野 卓
17	アメリカ短篇小説を読む	A	金	3・4時限	セミナー	3	8	5	法文学部	教授	渡部知美
18	日本人の宗教と死生観	A	金	5・6時限	講義	10	5	4	法文学部	教授	山崎 亮
19	基礎社会学Ⅱ	A	金	7・8時限	講義	3	4	4	法文学部	准教授	片岡佳美
20	環境問題通論A	A	金	9・10時限	講義・実地見学	10	0	0	教育学部	准教授	松本一郎 他
21	基礎フィールド演習	その他		集中講義（不定期）	セミナー	3	0	0	生物資源教育研究センター	准教授	山下多聞 他
	小計					154	79	65			

平成25年度（前期） 島根大学公開授業実施結果

教養教育科目

No.	科目名	レベル	曜日	時限	授業形態	募集人数	申込人数	受講人数	学部	職名	担当教員
22	歴史学概論	A	月	3・4時限	講義	10	3	3	法文学部	教授	渋谷 聡
23	考古学概論Ⅰ	A	月	5・6時限	講義	10	4	4	法文学部	教授	大橋泰夫
24	イギリス文学基礎演習Ⅰ	B	月	5・6時限	講読	3	4	4	法文学部	教授	西野義彰
25	芸術学講義Ⅱ	A	月	5・6時限	講義	10	5	5	法文学部	准教授	西田 兼
26	生産技術基礎実習Ⅰ	A	月	7・8・9時限	実習	5	0	0	生物資源科学部	教授	青木宣明 他6名
27	基礎物理学ⅠB	A	月	9・10時限	講義	3	1	1	総合理工学研究科	教授	水野 薫
28	木によるものづくり実習Ⅲ	C	月	9・10時限	実習	5	2	2	教育学部	特任教授	山下晃功
29	共生社会史	その他	火	1・2時限	講義	5	2	2	教育学部	教授	榎原 茂
30	日本史概説A	A	火	1・2時限	講義	10	9	8	法文学部	教授	大日方克己
31	地域産業特論	B	火	3・4時限	講義	5	1	1	法文学部	教授	中林吉幸
32	社会保障法	B	火	3・4時限	講義	10	4	3	法文学部	教授	遠藤昇三
33	地誌学概説	B	火	3・4時限	講義・実習	10	0	0	教育学部	准教授	作野広和
34	木質建築学Ⅰ	B	火	3・4時限	講義	20	12	12	総合理工学研究科	准教授 特任准教授	中井毅尚 黄 箭波
35	地域産業論Ⅰ	B	火	5・6時限	講義	5	1	1	法文学部	教授	中林吉幸
36	共生社会演習（人文地理学）	B	火	5・6時限	演習	10	0	0	教育学部	准教授	作野広和
37	財政学Ⅰ	B	火	5・6時限	講義	10	0	0	法文学部	准教授	関 耕平
38	固体物理学Ⅰ	C	火	5・6時限	講義	3	1	1	総合理工学研究科	教授	水野 薫
39	日本語史講義	B	火	7・8時限	講義	10	2	2	法文学部	教授	田籠 博
40	東洋史概説A	A	火	7・8時限	講義	5	4	2	法文学部	准教授	丸橋充拓
41	日本文学史Ⅰ	高校卒業 程度学力	火	9・10時限	講義	10	2	1	教育学部	教授	福田景道
42	耕地栽培学	B	水	1・2時限	講義	5	0	0	生物資源科学部	助教	門脇正行

平成25年度（前期） 島根大学公開授業実施結果

専門教育科目

No.	科目名	レベル	曜日	時限	授業形態	募集人数	申込人数	受講人数	学部	職名	担当教員
43	西洋史概説A	B	水	3・4時限	講義	10	3	3	法文学部	教授	渋谷 聡
44	植物細胞工学	B	水	5・6時限	講義	5	1	0	総合科学研究支援センター	教授	中川 強
45	自然地理学概論	B	木	1・2時限	講義	5	0	0	法文学部	教授	田坂郁夫
46	農作業学	B	木	3・4時限	講義	5	1	1	生物資源科学部	准教授	山岸主門
47	フランス言語文化入門	A	木	3・4時限	講義・演習	10	6	6	法文学部	教授	金山富美
48	労働法Ⅰ	B	木	3・4時限	講義	10	2	1	法文学部	教授	遠藤昇三
49	金融論Ⅰ	A	木	7・8時限	講義	5	1	1	法文学部	教授	伊藤光雄
50	生産技術基礎実習Ⅲ	A	木	7・8・9時限	実習	5	0	0	生物資源科学部	教授	青木宣明 他6名
51	人文地理学概説Ⅱ	B	木	9・10時限	講義・実習	10	0	0	教育学部	准教授	作野広和
52	果樹園芸学	A	金	3・4時限	講義	3	3	3	生物資源科学部	教授 准教授	板村裕之 江角智也
53	情報産業論	B	金	3・4時限	講義	5	1	1	法文学部	教授	野田哲夫
54	高分子科学	B	金	3・4時限	講義	5	0	0	総合理工学研究科	教授	上原 徹
55	日本古典文学特殊講義	高校卒業 程度学力	金	7・8時限	講義	10	3	3	教育学部	教授	福田景道
56	歴史学史料演習G	B	金	7・8時限	演習	3	2	1	法文学部	教授	竹永三男
57	木によるものづくり実習Ⅰ	A	金	9・10時限	実習	5	3	3	教育学部	特任教授	山下晃功
	小計					260	83	75			
	合計					414	162	140			

平成25年度（後期） 島根大学公開授業実施結果

教養教育系科目（全学共通教育科目）

No.	科目名	レベル	曜日	時限	授業形態	募集人数	申込人数	受講人数	学部	職名	担当教員
1	中国文学における風土と人間	A	月	1・2時限	講義	10	0	0	法文学部	教授	要木純一
2	異文化との出会い	A	月	1・2時限	講義	10	4	4	法文学部	教授	渋谷 聡
3	現代経済へのアプローチ	A	月	5・6時限	講義	5	9	6	法文学部	教授	中林吉幸
4	考古学から見た古代山陰の世界	A	火	1・2時限	講義	10	4	4	法文学部	教授	大橋泰夫
5	遺伝学	A	火	1・2時限	講義	3	3	2	生物資源科学部	准教授・ 准教授	初見真知子・ 中務 明
6	遺伝子を考える	B	火	3・4時限	セミナー	5	1	2	生物資源科学部	教授	川向 誠
7	地域づくり～地域教育の再生～	A	火	3・4時限	講義・演習	5	2	1	生涯教育推進センター	教授	仲野 寛 他
8	汽水域の科学（応用編）	C	火	7・8時限	講義	10	0	0	汽水域研究センター	教授	國井秀伸
9	ヨーロッパの言語文化Ⅱ	B	火	7・8時限	講義・セミナー	10	8	8	法文学部	准教授	安齋有紀
10	環境問題通論B	A	火	9・10時限	講義・実習	10	0	0	教育学部	准教授	松本一郎
11	動物の世界	A	木	3・4時限	講義	5	1	1	生物資源科学部	准教授	秋吉英雄
12	プレートテクトニクス	A	木	7・8時限	講義	10	5	5	総合理工学研究科	教授	高須 晃
13	「酒」 ～一杯の酒から学問を覗く～	A	金	3・4時限	講義・実習	4	2	2	法文学部	教授	竹永三男 他
14	島大ミュージアム学	A	金	3・4時限	講義	10	4	3	ミュージアム	准教授	曾下和宏
15	技術と社会	A	金	5・6時限	講義	10	4	3	総合理工学研究科	教授	矢野澄男 他9名
16	知ることと生きること	A	金	5・6時限	講義	10	11	10	法文学部	准教授	田中一馬
	小計					127	58	51			

平成25年度（後期） 島根大学公開授業実施結果

専門教育科目

No.	科目名	レベル	曜日	時限	授業形態	募集人数	申込人数	受講人数	学部	職名	担当教員
17	日本文学史Ⅳ	A	月	3・4時限	講義	10	6	6	法文学部	教授	武田信明
18	考古学概論Ⅱ	A	月	5・6時限	講義	10	2	2	法文学部	教授	大橋泰夫
19	イギリス文学基礎演習Ⅱ	B	月	5・6時限	演習	3	5	6	法文学部	教授	西野義彰
20	情報経済論	B	月	7・8時限	講義	5	2	2	法文学部	教授	野田哲夫
21	地域産業論Ⅱ	C	月	7・8時限	講義	5	0	0	法文学部	教授	中林吉幸
22	農業基礎実習Ⅱ	A	月	5～7時限	実習	5	0	0	生物資源科学部	教授	青木宣明 他
23	木によるものづくり実習Ⅱ	B	月	9・10時限	実習	5	5	4	教育学部	特任教授	山下晃功
24	財政学Ⅱ	B	火	1・2時限	講義	5	1	2	法文学部	准教授	関 耕平
25	労働法Ⅱ	B	火	3・4時限	講義	10	1	0	法文学部	嘱託講師	遠藤昇三
26	地方財政論	B	火	3・4時限	講義	5	1	1	法文学部	准教授	関 耕平
27	木質建築学Ⅱ	B	火	3・4時限	講義	20	2	2	総合理工学研究科	准教授	中井毅尚
28	東洋史概説B	B	火	7・8時限	講義	10	8	5	法文学部	准教授	佐々木 愛
29	歴史学史料演習D	B	水	1・2時限	演習	3	0	0	法文学部	准教授	佐々木 愛
30	自然地理学特論	B	木	1・2時限	講義	5	0	0	法文学部	教授	田坂郁夫
31	環境経済論Ⅱ	B	木	5・6時限	講義	5	4	2	法文学部	准教授	上園昌武
32	日本語学概論	A	木	5・6時限	講義	10	5	5	法文学部	准教授	浅田健太郎
33	風土環境論	A	木	7・8時限	講義	10	1	1	教育学部	教授	林 正久
34	金融論Ⅱ	B	木	7・8時限	講義	6	1	1	法文学部	教授	伊藤光雄
35	農業基礎実習Ⅳ	A	木	5～7時限	実習	5	0	0	生物資源科学部	教授	青木宣明 他

平成25年度（後期） 島根大学公開授業実施結果

専門教育科目

No.	科目名	レベル	曜日	時限	授業形態	募集人数	申込人数	受講人数	学部	職名	担当教員
36	木と木工の知識	A	木	7・8時限	講義・実習	5	2	2	教育学部	特任教授	山下晃功
37	発生生物学	A	月	9・10時限	講義	10	2	2	生物資源科学部	准教授	西川彰男
38	経済学概論	A	金	3・4時限	講義	5	4	3	法文学部	教授	野田 哲夫
39	日本文学史Ⅰ ～王朝物語文学史とその周辺 ー前半ー～	A	金	5・6時限	講義	10	1	2	教育学部	教授	福田景道
40	文化共生論 ～日本の王朝文学と「異界」～	A	金	7・8時限	講義	10	1	1	教育学部	教授	福田景道
41	歴史学史料演習G	C	金	7・8時限	講義	2	3	1	法文学部	教授	竹永三男
	小計					179	51	50			
	合計					306	109	101			

2 平成25年度 生涯教育推進センター事業 実施内容結果

(2) 生涯教育推進センター講座実施結果

平成25年度センター事業（学習機会提供・指導者養成）実施結果

類別	形態	講座名等	講師	日程	回数	総時間	募集人数	申込人数	受講人数	修了人数	延べ受講者数	対象	
学習機会提供事業	主催	「人形浄瑠璃文楽の世界を知る」	(公開講座：無料)										
		出雲に緑の深い人形浄瑠璃『日本振袖始』の特別公演が松江市で催されるあたり、その公演の前に「文楽」に係わる基礎的知識や「観劇のポイント」などの講義を聴講し、文楽への理解を深め、文楽を楽しむようにします。	法文学部 教授 田中 則雄	2/9、2/16、3/9	3	4.5	100	93	91	91	273		
		「コンピュータサービス技能評価試験2級(表計算)」	(公開講座：有料)										
		教育訓練施設や事業所にて、コンピュータ操作方法を学習した者やコンピュータを活用した各種サービスを行う者を対象にその操作能力を評価する試験の対応講座。	民間IT教育関係事業者	10/24～2/13	15	30	20	8	8	8	120		
		「国家資格「ITパスポート」試験支援講座」	(公開講座：有料)										
		ITパスポートは、平成21年4月から新たに情報処理技術者試験に追加された新しい国家資格。経営戦略、財務、法務など経営全般に関する知識、セキュリティ、ネットワークなど幅広い分野の総合的知識を備えていることを証明する資格。	民間IT教育・経営教育関係事業者	10/22～2/18	15	30	20	12	11	11	165	一般市民学生	
		「インターネットサービスの発達と教育環境・生活環境への影響」	(公開講座：無料)										
		一般市民が日常生活を不安なく安心して過ごせるよう、また、子どもたちも大人もインターネット社会の被害者にならないよう、新しい知識と技術、また対応等について理解を深める。	生涯教育推進センター 教授 仲野 寛 (有) Willさんいん 代表取締役 長谷川 陽子	11月6日	1	2	20	6	2	2	2		
		「親子自然体験講座」(夏季編)	県水産技術センター内水面浅海部長・他 日本赤十字社水上安全法指導員 生涯教育推進センター 教授 仲野 寛	7/14、15、21 7/28	4	18	20	16	16	16	64		
「デジタルアーカイブクリエイター資格取得講座」	常磐大学コミュニティ振興学部教授 坂井 知志 映像制作ディレクター 佐藤 一孝	2/1、2	2	12	30	15	15	13	26	教育・文化財行政関係者 情報技術者・学生・教育関係者			
「社会教育基礎講座(概論・各論)」	生涯教育推進センター教授 仲野 寛	11/26、12/10、17、1/14、21	5	15	20	10	10	9	45	教育行政関係者 社会教育関係団体職員			
※生涯学習・社会教育の理念や基本的知識、教育行政の課題、社会教育施設や職員の役割について学ぶ。													
「社会教育基礎講座(各論)」	常磐大学コミュニティ振興学部教授 坂井 知志	1月31日	1	3	20	16	16	16	16	教育行政関係者 社会教育関係団体職員			
※社会教育活動における著作権に係わる諸問題の理解と対応について学ぶ													
「社会教育基礎講座(特講)」	県内外の社会教育の専門研究者 生涯教育推進センター教授 仲野 寛	11/19、26、12/3、10、17、1/7、14、21	8	12	20	6	6	6	9	社会教育関係者 教育学部生			
※本学の授業「地域づくり～地域教育力の再生～」の一部を選択聴講し、地域教育力に関する基本的知識と実践を学ぶ。													
		事業合計			54	126.5	270	182	175	172	720		

私立南公学大黒心
生涯学習の姿を継承する人

3 平成25年度 生涯教育推進センター事業 実施内容

(1) 学習機会提供事業

島根大学公開講座 人形浄瑠璃文楽の世界を知る

1 講座趣旨

3月、出雲に縁の深い人形浄瑠璃『日本振袖始』の特別公演が松江市で催されるにあたり、その公演の前に「文楽」に係わる基礎的知識や「観劇のポイント」などの講義を行い、文楽への理解を深め、文楽を楽しめるようにした。

なお、特別公演の「日本振袖始」は島根（出雲）に縁のある人形浄瑠璃で、近松門左衛門原作の素盞鳴尊（すさのおのみこと）の神話を取り入れた浄瑠璃の内、出雲の国で素盞鳴尊が宝剣を奪還するため八岐大蛇を酩酊させて退治する場面が文楽の舞台で演じられました。この舞台を鑑賞し、本県で演じられる八岐大蛇を退治する神楽とは一味違った神話の世界を味わうことができました。

2 講義内容

- (1) 「人形浄瑠璃文楽とは」～その誕生から今日まで～ (2月9日)
島根大学法文学部教授 田中 則雄
- (2) 「近松門左衛門と出雲国」～「日本振袖始」をめぐって～ (2月16日)
島根大学法文学部教授 田中 則雄
- (3) 文楽観劇「日本振袖始」(3月9日)

3 講義日程

各回日曜日 13:30～15:00

4 講義会場

講義：島根県民会館大会議室

観劇：島根県民会館大ホール

5 参加者

91名

島根大学公開講座
仕事で使える『エクセル』上級スキルマスター
—コンピュータ・サービス技能評価試験2級の取得支援講座—

1 講座趣旨

普段からエクセルを利用している方が、さらに上級スキルを身に付け、より効果的に日常業務に活かして行く方法を学ぶ講座として開講した。

また、この講座は、主に社会人、また就職を目指している人を対象に、夜間講座として開講し、CS検定2級の取得を目標として実施した。

2 講 師

(有)Willさんいん 加藤てるみ

3 日 程

10月24日（木）～2月13日（木） 毎回18：30～20：30
毎週木曜日 2時間×15回

4 講座会場

島根大学生涯教育推進センター ICT演習室

5 参加者

一般市民6名 学生2名

6 受講料

講習料 9,000円 テキスト代 2,000円 受験料 6,400円

7 受講方法

受講者5名以上が講座開講の条件とした。

【講座内容】

回	日程	曜日	講義テーマ・内容
1	10月24日	木	表の作成・装飾と編集・グラフ作成の確認
2	10月31日	木	関数の活用①（論理関数、検索・行列関数）
3	11月 7日	木	関数の活用②（論理関数、検索・行列関数）
4	11月14日	木	関数の活用③（数学・三角関数、日付・時刻関数）
5	11月21日	木	関数の活用④（数学・三角関数、日付・時刻関数）
6	11月28日	木	関数の活用⑤（データベース関数）・データベース作成
7	12月 5日	木	関数の活用⑥（データベース関数）・データベース作成
8	12月12日	木	関数の活用⑦（データベース関数）・データベース作成
9	12月19日	木	条件付き書式設定・ユーザー定義①
10	1月 9日	木	条件付き書式設定・ユーザー定義②
11	1月16日	木	グラフ作成①
12	1月23日	木	グラフ作成②
13	1月30日	木	コンピュータ技能評価試験 2級対策①
14	2月 6日	木	コンピュータ技能評価試験 2級対策②
15	2月13日	木	コンピュータ技能評価試験 2級対策③模擬試験

島根大学公開講座
あなたのIT力を証明する国家資格『ITパスポート』試験支援講座
—ITパスポート試験は、「情報処理技術者」試験—

1 講座趣旨

ITパスポートは、平成21年4月から新たに情報処理技術者試験に追加された情報に関する新しい国家資格です。具体的には、経営戦略、財務、法務など経営全般に関する知識をはじめ、セキュリティ、ネットワークなどのIT技術の知識、IT管理の知識など、幅広い分野にわたる総合的知識を備えていることを証明する資格です。

本講座は、このITパスポート試験の受験を支援するための講座であるとともに、ITを正しく理解し、業務に効果的にITを活用することのできる“IT力”を身につけることも目指して実施しました。

2 講師

パソコンインストラクター 小倉佳代子

3 日程

10月22日（火）～2月18日（火） 毎回18：30～20：30
毎週木曜日 2時間×15回

4 講座会場

島根大学生涯教育推進センター ICT演習室

5 参加者

一般市民5名 学生6名

6 受講料

講習料 9,000円 テキスト代 2,000円 受験料 5,100円

7 受講方法

受講者5名以上が講座開講の条件とした。

【講座内容】

回	日程	曜日	講義テーマ・内容
1	10月22日	火	ストラテジ系 企業活動と法務
2	10月29日	火	ストラテジ系 経営戦略
3	11月5日	火	ストラテジ系 システム戦略
4	11月12日	火	マネジメント系 開発技術／システム開発 ソフトウェア開発管理
5	11月19日	火	マネジメント系 プロジェクトマネジメント
6	11月26日	火	マネジメント系 サービスマネジメント
7	12月3日	火	テクノロジ系 基礎理論 アルゴリズムとプログラミング
8	12月10日	火	テクノロジ系 コンピュータシステム①
9	12月17日	火	テクノロジ系 コンピュータシステム②
10	1月7日	火	テクノロジ系 技術要素① マルチメディア・データベース
11	1月14日	火	テクノロジ系 技術要素② ネットワーク・セキュリティ
12	1月21日	火	全体まとめ①
13	1月28日	火	全体まとめ②
14	2月4日	火	I Tパスポート試験対策①
15	2月18日	火	I Tパスポート試験対策②と模擬試験

島根大学公開講座
「インターネットサービスの発達と教育環境・生活環境への影響」
 ～利便性と危険性をはらんだICT社会～

1 講座趣旨

スマートフォン、タブレット端末PC等のハードウェアの変化と新しいICT技術を活用したコミュニケーション手段が展開され、社会生活を便利にするとともに一方で多くの問題が生じている。この講座では、一般市民が日常生活を不安なく安心して過ごせるよう、また、子どもたちも大人もインターネット社会の被害者にならないよう、新しい知識と技術、また対応等について理解を深めた。

2 講師

生涯教育推進センター教授 仲野 寛

3 日程

11月6日(水) 18:30~20:00

4 講座会場

島根大学生涯教育推進センター会議室

5 参加者

2名

6 受講料

無料

7 講義内容

情報社会のもたらした学習環境・生活環境の変化と課題

生涯教育推進センター特別講座
「親子自然体験講座（夏季編）」
ースキndaイビング入門と磯の生物観察ー

1 主 催

島根大学生涯教育推進センター

2 講座趣旨

夏の自然体験活動としてスキndaイビング（素潜り）を安全に、かつ有意義に楽しめるように必要な知識と技術の向上を図るために実施した。

また、実際に島根半島でスキndaイビングを体験したり、磯の動植物の生態の観察を通して、海の自然に親しんだ

3 日程及び活動

- ① 7月14日(日) 13:00 ~ 16:30 オリエンテーション・大学プール実習
- ② 7月15日(月) 10:00 ~ 16:00 大学プール・基礎実習
- ③ 7月21日(日) 9:00 ~ 12:00 県立プール・総合練習
- ④ 7月28日(日) 9:30 ~ 16:30 島根町多古地区周辺海岸

4 講 師

日本赤十字社水上安全法指導員 (日本スノーケリング協会公認インストラクター)	本田 坦
日本赤十字社水上安全法指導員	池田 幸恵
島根県水産技術センター内水面浅海部部长 島根県水産技術センター 内水面浅海部内水面グループ専門研究員	勢村 均
島根県松江水産事務所水産業普及員	曾田 一志
海の自然体験活動指導者・水泳指導員	吉田 太輔
島根大学生涯教育推進センター教授 (日本スノーケリング協会公認インストラクター)	安達 滋 仲野 寛

5 対 象 者

一般市民 16名（原則、小学4年生以上）
※水泳、海水浴等が健康上、問題のない者
※小・中学生は、親子での参加が原則

6 受 講 料

無 料

7 必要経費

学外の実習経費は自己負担
(県立プール借用分担金、保険代・渡船代等の実費を別途徴収した)

9 そ の 他

ダイビング3点セット（マスク・スノーケル・フィン）の基本的な機材、ウェットスーツ、シューズ等は大学で準備。

講座展開の概要と活動内容の日程

会場： 島大プール① 島大プール② 県立飛込プール 島根町多古海岸

	7月14日(日)	7月15日(月)	7月21日(日)	7月28日(日)
	基礎練習Ⅰ	基礎練習Ⅱ	総合練習Ⅰ	海の自然体験
9:00	■：講義 □：実技	9:30 大学プール集合 10:00 準備運動 <input type="checkbox"/> スキンドайビング 練習Ⅰ (基礎技術Ⅰ) ・パイプクリア ・フィンワーク	9:30 県立プール集合 10:00 準備運動 <input type="checkbox"/> スキンドайビング 練習 ・エントリーとイグ ジット ・サーフェイスダイブ ・耳抜き練習 <input type="checkbox"/> バディ・システム 練習	9:30 島根町多古漁港集合 10:00 準備運動 <input type="checkbox"/> スキンドайビング の実際 ※船にて実習予定の 磯(岩場)に移動 ※親子バディでスキ ンダイビング活動 を実践
12:00		12:00 昼食/休憩	12:30 諸連絡、解散	12:00 昼食/休憩
13:00	13:00 ・開講式 ・オリエンテーション ■スキンドайビング の基礎知識 ※大学プールへ移動 14:30 準備運動 <input type="checkbox"/> ウェットスーツの 装着と浮力体験 <input type="checkbox"/> 三点セットの使い 方 ・正確な装着 ・スノーケリング	13:00 準備運動 <input type="checkbox"/> スキンドайビング 練習Ⅱ (基礎技術Ⅱ) ・マスククリア ・スキンドайビング <input type="checkbox"/> スキンドайビング 練習Ⅲ (基礎技術Ⅲ) <input type="checkbox"/> エントリー法の練 習 ・サーフェイスダイブ ・ジャイアントスト ライド		13:00 ■多古海岸の海洋 生物の特徴 (勢村・曾田・吉田) 14:00 準備運動 ※船にて実習予定の 島(岩場)に移動 <input type="checkbox"/> スキンドайビング の実際と自然観察 <input type="checkbox"/> 親子バディでフリー スキンドайビング
16:00	16:30 諸連絡、解散	16:00		16:30 閉校式、解散
	■本田/勢村/池田 安達/仲野	本田/勢村/池田 安達/仲野	本田/勢村/池田 安達/曾田/吉田	本田/勢村/池田 曾田/吉田/安達

【講座運用スケジュール表】

7月14日(日)「基礎練習1」 場所：大学プール

時間	日 程	活動内容詳細と準備内容
12:00	集合（スタッフ）・打合せ・準備 ・機材の準備 ・教育学部玄関前（12:40） ・受付（13:00）	場所：センター会議室 ・センターICT演習室 ・受付名簿・領収書準備
13:00	<input type="checkbox"/> 開講 ・オリエンテーション・諸注意	趣旨・日程案内・スタッフ紹介・ 資料講義・DVDイメージ・トレーニング
13:15	<input type="checkbox"/> スキндаイビングの基礎知識	
14:00	⇒三点セット配布・プールへ移動	家族単位で配布する サイズを確認し、装着してみる
14:30	<input type="checkbox"/> 準備運動・点呼 <input type="checkbox"/> ウェットスーツの装着と浮力体験 <input type="checkbox"/> 三点セットの使い方 ※正確な装着法を身につける ※三点セットの基本的使用技術を習得させる	※準備運動 ※大人と子どもグループに分ける ※水に慣れる。三点セットの正しい装着ができるようにする 1)水着のまま体操・グループ分け 2)ウェットを着て、水中感覚に慣れる 3)マスクにスノーケルを付け、使用法を指導 4)マスク・スノーケルに慣れる*相互確認 5)マスク・スノーケルを付け、長く泳ぐ 6)フィンの装着、自由に泳がせる
16:00	<input type="checkbox"/> 点呼・諸連絡、解散	※スタッフ・ミーティング 各人の技術評価と課題

【講座運用スケジュール表】

【表1-1-1】

7月15日(月)「基礎練習2」 場所：大学プール

時間	日 程	活動内容詳細と準備内容
9:00	集合 (スタッフ)	場所：センター会議室
9:30	集合(参加者、大学プール玄関前)	受付名簿・点呼
10:00	<ul style="list-style-type: none"> ・準備運動・点呼 □スキンドイビング基礎技術Ⅰ ・スノーケルクリアの練習 ・フィンワークの練習 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 三点セットの置き方、自由泳法 2) バディを決める、装着相互確認 3) スノーケルクリアの練習 4) マスクを付け、フィンワークの練習 <ul style="list-style-type: none"> ・壁を押しながらフィンワークを確認 ・泳ぎながらのフィンワークを確認
12:00	昼食	
13:00	<ul style="list-style-type: none"> ・準備運動・点呼 □スキンドイビング基礎技術Ⅱ ・マスククリアの練習 	<ol style="list-style-type: none"> 1) スノーケリングでプール往復 2) スノーケルを外させて、マスククリアを指導 3) スノーケルを装着後、マスククリアを練習 4) 泳ぎながら、マスククリアを練習
14:00	<ul style="list-style-type: none"> □スキンドイビング基礎技術Ⅲ ・サーフェイスダイブ ・ジャイアントストライド等 ・エントリーの仕方練習 	<ol style="list-style-type: none"> 1) スノーケリングからスキンドイビングへ発展 2) 短い距離からサーフェイスダイブを練習 3) 長い距離を泳ぎながら、サーフェイスダイブとスノーケルクリアを繰り返す。 <p>フィンワークを確認</p> <ol style="list-style-type: none"> 4) プールの淵から、ジャイアントストライド等エントリー法の練習
15:30	諸連絡、解散	<p>※スタッフ・ミーティング</p> <p>各人の技術評価と課題</p>

【講座運用スケジュール表】

7月21日(日)「総合練習1」 場所：県立飛込みプール

時間	日程	活動内容詳細と準備内容
9:00	(スタッフ)	集合：県立プール玄関前
9:30	集合(参加者OB)	・点呼 ⇒ 機材貸出
	集合(一般参加者、プール玄関前)	・点呼 ⇒ 参加最終人数確認
	点呼・入場券配布・着替え	・入場券準備
10:00	・飛込みプール集合 ・準備運動 <input type="checkbox"/> 基礎技術Ⅰ・Ⅱの復讐 ・スノーケリングの総合練習 ・チーム&バディ・システムの練習 ※休憩	・準備体操 1)バディを決める、装着相互確認 ・プールで浮力体験(水慣れ安心感) 2)スノーケリングでプール往復 ・スノーケリングの技術確認 ・特にフィンワークを確認
11:00	<input type="checkbox"/> 基礎技術Ⅲの復讐 ・スキンドайビングの総合練習 ・サーフェイスダイブ等の練習 ・耳抜き練習 ・エントリー法の練習 ※休憩 <input type="checkbox"/> 水上救助法の紹介 <input type="checkbox"/> 総合練習 ・親子、大人と子供のバディ練習 お互いの技術確認	1)サーフェイスダイブ、フットファーストダイブ 2)耳抜きの体験と練習 3)スノーケリングからダイビングへ 4)泳ぎながらサーフェイスダイブとスノーケルクリアを繰り返し練習 (プールのふちに触らない) 5)ジャイアントスタライド等エントリー法の練習 1)大人と子どものバディの技術確認
12:00	・飛び込みプールでの練習終了	※スタッフ 個人能力・注意バディの確認
12:30	諸連絡、解散	

【講座運用スケジュール表】

7月28日(日)「海の自然体験」 場所：島根町多古海岸

時間	日 程	活動内容詳細と準備内容
9:00		集合 (スタッフ)：大学正門前、移動
9:30	島根町多古漁港集合 ・準備運動	集合：多古漁港網小屋前 ・点呼⇒名簿確認。健康確認
10:00	<input type="checkbox"/> スキンドайビングの実際 ※船にて実習予定の磯・岩場に移 動 ※親子バディでスノーケリングを 実践	・活動エリア確認と安全確認 1)バディを決め、機材装着相互確認 2)スノーケリングを行い、海中の観察 ・スノーケリングの技術確認 ・特にフィンワークを確認
12:00	昼食・休憩	
13:00	■多古海岸の海洋生物の特徴解説 (勢村・曾田・吉田)	・午前中に標本を採取、解説・講義終了後、海 へリリース
14:00	・準備運動 ※船にて実習予定の六島に移動 <input type="checkbox"/> スキンドайビングの実際と自然 観察 <input type="checkbox"/> 親子バディでフリーダイビング	活動エリア確認と安全確認 1)バディを決め、機材装着相互確認 2)スノーケリングからスキンドайビングへ ※活動支援スタッフ
16:00	(点呼⇒バディ確認。健康確認) 活動終了、シャワー・着替え	ダイビング中のバディの安全確認の担当を決 め、常に注意を払うこと。
16:30	閉校式、解散	※スタッフ・ミーティング 参加者の活動状況評価と課題

生涯教育推進センター特別講座 デジタルアーカイブクリエイータ資格取得講習会

1 主催者

主催 島根大学・常磐大学・岐阜女子大学（共同開催）

後援 特定非営利活動法人 日本デジタル・アーキビスト資格認定機構

2 趣 旨

過去の歴史的な資料や貴重な文化的資料、そして現在の島根県の様々な記録をデジタル化し、今日の教育と研究、又観光等の地域産業に活用するとともに、百年後、数百年後の未来に遺すためのデジタルアーカイブを構築するための専門的な知識と技術を学び、デジタルアーカイブ・コーディネータの資格を修得した。

※デジタルアーカイブクリエイータ資格

地域の文化活動やサークル活動などで、文化情報の収集や文化創造活動において情報の記録、保存、流通を行うとき、情報活用、著作権、プライバシー等の基本的な知識をもち、情報の管理、流通に責任をもって担当できる人材。

3 講習日程・内容

2月1日（土）

- | | | |
|-----|---|-------------|
| (1) | 「デジタル・アーキビストとは」 | 10：20～12：00 |
| (2) | 「資料のデジタル化と記録・保存」
・地域社会の記録を未来に遺す
～資料の収集・登録・保存・管理・利用～ | 13：00～14：40 |
| (3) | 「知っておきたい情報モラルと知的財産権」
・デジタルアーカイブのガイドラインの事例
～知的財産、肖像権等に関する基本的な知識～ | 15：00～16：40 |

2月2日（日）

- | | | |
|-----|---|-------------|
| (4) | 「撮影・記録の知識と方法(1)」
～デジタル・カメラの撮影の基本～
～インタビューの技法について～ | 10：00～12：00 |
| (5) | 「撮影・記録の知識と方法(2)」
～デジタル画像（写真・動画）の編集の基本～ | 13：00～16：00 |

※「デジタルアーカイブクリエイータ認定試験」 （16：10～17：00）

4 講 師

- (1)～(3) 常磐大学コミュニティ振興学部 教授 坂井 知志
(4)～(5) 映像制作ディレクター 佐藤 一孝

5 講習会場

島根大学生涯教育推進センター ICT演習室

6 参加者

15名

社会教育関係者、民間企業のIT・映像関係者、NPO関係者・地域住民等でデジタルアーカイブに関心がある人など

7 受講料

無料

※別途、テキスト資料代 2,000円、認定試験料 5,000円

本講習会の具体的な目的・目標

(1) 「デジタル写真やビデオを利活用するために」

現在、マスコミから個人まで、日本や島根の歴史や風土、文化をデジタルデータで撮影し、利用し、保存している。しかし、残念ながら著作権などを理解していないため公表ができない場合も全国的には出てきている。現在、利活用を進めるためにも、デジタル・カメラの撮影に関する知識や技術、著作権や肖像権などの制度的な知識や技術が必要である。

(2) 「デジタル写真やビデオを未来に遺すために」

デジタル・データは長期保存には適してはいない。長期保存のISO取得のDVDであっても30年保証である。更に、メディアの劣化やハード、圧縮技術の変化に対応する術が世界中で確立されていない。それをいかに長期保存の資料とするのかについての知識・技術を理解し、地域の資産を現在及び未来に活用される貴重な資料とするための専門性を高める。

(3) 「デジタルアーカイブ・クリエータ資格を取得する」

社会教育関係者や企業やNPO、地域住民がデジタルアーカイブの専門的な資格である「デジタルアーカイブ・コーディネータ（クリエータ）」資格を取得する。

受講対象者の活用参考事例

- ・社会教育主事等の教育行政職員、及び公民館職員等社会教育施設職員
(例：地域住民が記録する島根の地域文化デジタルアーカイブ構築に向けて)
- ・図書館司書等職員 (例：地域歴史文献、地域映像教材のデジタル化)
- ・博物館学芸員等職員 (例：博物館資料のデジタル教材化)
- ・NPOや地域住民 (例：貴重な取り組みや個人の記録を地域の資料とする方法の理解)

香港新界沙田大埔公路大埔墟段119號

(發行)

香港新界沙田大埔公路大埔墟段119號
電話：(02) 2611 2222

(發行)

香港新界沙田大埔公路大埔墟段119號

主編：何國光 何國光 何國光

本報自創刊以來，承蒙各界人士愛護，業務蒸蒸日上。本報為擴大服務，特設「何國光專欄」，由何國光主編，內容豐富，包括時事評論、社會觀察、文化探討等。本報亦設有「何國光專欄」，由何國光主編，內容豐富，包括時事評論、社會觀察、文化探討等。本報亦設有「何國光專欄」，由何國光主編，內容豐富，包括時事評論、社會觀察、文化探討等。

本報自創刊以來，承蒙各界人士愛護，業務蒸蒸日上。本報為擴大服務，特設「何國光專欄」，由何國光主編，內容豐富，包括時事評論、社會觀察、文化探討等。本報亦設有「何國光專欄」，由何國光主編，內容豐富，包括時事評論、社會觀察、文化探討等。本報亦設有「何國光專欄」，由何國光主編，內容豐富，包括時事評論、社會觀察、文化探討等。

本報自創刊以來，承蒙各界人士愛護，業務蒸蒸日上。本報為擴大服務，特設「何國光專欄」，由何國光主編，內容豐富，包括時事評論、社會觀察、文化探討等。本報亦設有「何國光專欄」，由何國光主編，內容豐富，包括時事評論、社會觀察、文化探討等。本報亦設有「何國光專欄」，由何國光主編，內容豐富，包括時事評論、社會觀察、文化探討等。

何國光專欄

本報自創刊以來，承蒙各界人士愛護，業務蒸蒸日上。本報為擴大服務，特設「何國光專欄」，由何國光主編，內容豐富，包括時事評論、社會觀察、文化探討等。本報亦設有「何國光專欄」，由何國光主編，內容豐富，包括時事評論、社會觀察、文化探討等。本報亦設有「何國光專欄」，由何國光主編，內容豐富，包括時事評論、社會觀察、文化探討等。

生涯教育推進センター事業
(総合・産学) 生涯教育推進センター

3 平成25年度
生涯教育推進センター事業 実施内容

(2) 社会教育指導者養成事業

生涯教育推進センター特別講座 社会教育基礎講座（概論・各論）

1 趣 旨

生涯学習・社会教育関係の職員を対象に、地域の生涯学習・社会教育を推進するために必要な基礎的知識や技術、及び地域の課題等について理解を深め、これからの地域社会に必要となる地域の教育指導者としての力量を高めた。

2 日 程

11月26日（火）～平成26年1月21日（火）

午後1時00分～午後4時00分 3時間00分（休憩時間含む）

3 講義テーマ

- (1) 「生涯学習（理念）の理解」「地域づくりと社会教育」（11/26）
- (2) 「地域の各種団体・組織」「公民館等の社会教育施設の役割」（12/10）
- (3) 「生涯学習社会における様々な指導者」「指導と支援のあり方」（12/17）
- (4) 「住民のニーズと地域の課題の把握と対応」（1/14）
「地域の課題と社会教育事業」（1/14）
- (5) 「青少年教育・家庭教育における地域体験活動の意義」（1/21）
「学校教育活動を支援する社会教育の現状と課題」（1/21）

4 講 師

島根大学生涯教育推進センター教授 仲野 寛

5 会 場

島根大学生涯教育推進センター会議室

6 参 加 者

生涯学習関係職員、社会教育施設職員（原則、2年以上の実務経験者） 10名

生涯教育推進センター特別講座
社会教育基礎講座(各論)
—社会教育活動における著作権—

1 趣 旨

社会教育活動における著作権に係わる諸問題の理解と対応について学んだ。

2 日 程

平成26年1月31日(金)

午後1時00分～午後4時00分 3時間00分(休憩時間含む)

3 講義テーマ

生涯学習・社会教育に係わる著作権

「社会教育活動における著作権に係わる諸問題の理解と対応」

4 講 師

常磐大学コミュニティ振興学部教授 坂井 知志

※文化審議会著作権分科会専門委員

5 会 場

島根大学生涯教育推進センター ICT演習室

6 参 加 者

生涯学習関係職員、社会教育施設職員 16名

社 会 教 育 指 導 者 養 成 事 業

生涯学習推進センター

参 事 長

島根県生涯学習推進委員会 島根県生涯学習センター

生涯教育推進センター特別講座 社会教育基礎講座(特講) —「地域づくり」地域教育力の再生—

1 趣 旨

生涯学習・社会教育関係の職員を対象に、地域の生涯学習・社会教育を推進するために必要な基礎的知識や技術、及び地域の課題等についての理解を深め。地域の社会教育活動の実践事例についても理解を深めた。

2 日 程

11月19日(火)～平成26年1月21日(火)

午前10時15分～午前11時45分 90分

3 講義テーマ・担当講師

- 11/19 事例：“島”の子どもたちを育む“ふるさと教育”の実際
(中村 孝志：隠岐の島町教育委員会生涯学習課社会教育係・社会教育主事)
- 11/26 事例：地域の伝統行事、文化・芸能の伝承活動
(野尻 かおり：浜田市立三隅公民館主事)
- 12/3 事例：地域の自然体験活動の実際② (海辺の活動)
(仲野 寛：生涯教育推進センター教授)
- 12/10 講義・事例：地域スポーツ活動の推進と青少年の育成
(青山 巧：島根県教育庁保健体育課生涯スポーツ振興グループSL・社会教育主事)
- 12/17 事例：地域の自然体験活動の実際① (山辺の活動)
(福田 悟：島根県キャンプ協会事務局長)
- 1/7 講義・事例：地域の子どもを育む“ふるさと教育”
(山中 慎嗣：島根県教育庁社会教育課社会教育グループリーダー・社会教育主事)
- 1/14 講義・事例：地域の図書館と“子ども読書県しまね”の実際
(大野 浩：島根県立図書館図書館支援課地域支援係 係長)
- 1/21 講 義：男女共同参画社会の形成と女性の社会参加活動の推進
(澤 アツ子：財団法人21世紀職業財団参与)

4 会 場

教育学部2階講義室

5 参加者

生涯学習関係職員、社会教育施設職員 6名